

# 川崎市災害対策本部の活動状況

資料 1

(4月4日分 (4月5日 (火) 午前8時現在))

## 1 被害を受けた施設の状況

被害を受けた施設 177施設(平成23年4月4日12時集計数)

## 2 主要業務

### (1) 計画停電関連

計画停電の対象地域の細分化が3月26日(土)から適用されている。

(3月25日まで)

グループ	地域
1	川崎区の一部
2	麻生区の一部
3	幸区、中原区の一部
4	川崎区、幸区の一部
5	高津区、宮前区の一部

→

(3月26日から)

グループ	地域
1-E	川崎区の一部
2-D	麻生区の一部
3-D	幸区、中原区の一部
4-D	川崎区、幸区の一部
5-D	高津区、宮前区の一部

### ア 4月4日(月) 計画停電実施状況 (4日は実施せず)

実施時間帯	6:20~10:00	9:20~13:00	12:20~16:00	15:20~19:00	18:20~19:35
対象グループ	3-D	4-D	5-D	1-E	2-D
				13:50~17:30	16:50~20:30
				3-D	4-D

### イ グループ別停電延べ回数 (4月4日(月)まで)

1グループ	2グループ	3グループ	4グループ	5グループ
5回	4回	3回	4回	5回

### ウ 4月5日(火)の計画停電実施予定

計画停電は実施されません。

エ 新たに計画停電対象から除外される市施設

(ア) 市立川崎病院が変電所の切り替えにより、計画停電対象施設から除外されたことに伴い、これまで一時除外とされていた本庁舎、第3庁舎、第4庁舎、川崎区役所、太田総合病院が計画停電対象施設から除外された。また、にじのまち病院及び堤根処理センターが新たに対象施設から除外された。

(イ) 上下水道局平間配水所及び鹿島田病院は、次回計画停電実施以降に除外予定（停電中に切替を行うため）

(ウ) 選挙の際に期日前投票施設として使用する15施設に関しての要望に対し、12施設が除外された。残り3施設については、非常用発電機等で対応する。

オ 計画停電の長期化に伴い、次の事項を検討する。

(ア) 公共施設における節電対策について

(イ) 公共施設の利用制限について

(ウ) 計画停電除外要望施設などにおける停電対策について

カ 道路照明の減灯

第一段階 3月29日から	県道扇町川崎停車場（270基中68基） 3月31日時点：68基終了（進捗率100%）
第二段階 4月以降順次	一般国道409、県道世田谷町田、県道川崎府中、県道鶴見溝ノ口、 県道上麻生連光寺、市道幸多摩線、市道川崎駅丸子線、市道鹿島 田菅線、市道尻手黒川線（2730基中830基）

(2) 燃料関連

種類	用途	状況
特A重油	川崎病院、浄水場等自家発電	当面、確保済
ガソリン	市立病院、消防署等車両用	当面、確保済
軽油	ごみ収集車、自家発電用	当面、確保済
灯油	多摩病院自家発電	当面、確保済

(3) 被災地からの避難者対応関連

ア とどろきアリーナ避難所

(ア) 避難者の推移(午前8時現在)

日付	3/19	3/20	3/21	3/22	3/23	3/24	3/25	3/26	3/27	3/28
世帯数	18	24	29	32	34	33	35	36	37	36
人数	58	77	104	112	110	106	107	111	112	105

  

日付	3/29	3/30	3/31	4/1	4/2	4/3	4/4	4/5		
世帯数	37	37	39	37	39	38	36	37		
人数	105	106	112	105	108	104	99	102		

4月4日→4月5日 (増) 1世帯 3人、(減) 0世帯 0人

イ 避難所に関する総合案内

市民・こども局庶務課内に設置

- ・避難所入居希望者の受付、避難所に関する報道対応等
- ・24時間体制

ウ 公営住宅の入居基準について

国が福島第一原発から30km圏内の住民も入居対象者に追加。

エ 公営住宅の応募状況について

公営住宅の1次募集(100戸)については、3月29日以降、入居を開始。2次募集(575戸)については、4月1日～14日に受付を行う予定。

川崎市営住宅は1次募集で21世帯68名が入居予定であり、このうち20世帯が入居手続きを完了、又は入居を開始している。なお、とどろきアリーナの避難者3世帯6名は入居済みである。

オ 避難者リストの提供依頼

3月29日に福島県災害対策本部から神奈川県安全防災局を經由して、3月31日現在の福島県から川崎市内避難所に避難している方リストを提供するよう依頼があったため、4月1日に市民・こども局庶務課にてリストを作成し、神奈川県安全防災局へ提出した。

また、宮城県からとどろきアリーナに避難している方の情報を宮城県災害対策本部宛に提供した。

カ その他

3月29日午後3時からとどろきアリーナ避難者を対象に就学案内並びに就学相談を実施。4月4日に就学手続きを実施。小学生6人、中学生7人。

(4) 救援・応援関連

ア 救援物資搬送の状況

(ア) 搬送実績

	搬送場所	出発日時	救援物資内容
1	岩手県花巻市（相互応援協定）	3月15日	アルファ米2,000食 毛布200枚
2	宮城県仙台市（20大都市相互協定）	3月15日	アルファ米5,000食 毛布1,600枚
3	宮城県（神奈川県より要請） ※県が物資を海上自衛隊横須賀基地 に集積し、輸送艦にて海上輸送	3月15日	アルファ米31,500食
4	茨城県（国：緊急災害対策本部より要請）	3月16日	毛布3,000枚
5	福島市（市より要請）	3月17日	アルファ米10,000食 水のペットボトル740本 消毒アルコール500本 マスク10,000枚 ラジオ100台
6	福島県（環境省より要請）	3月19日	災害用ボックストイレ300基 汚物処理袋15,000袋
7	宮城県（国：緊急災害対策本部より要請）	3月23日	災害用トイレ5基
8	福島県（環境省より要請）	3月23日	災害用トイレ100基
9	日立市かみね動物園、仙台市八木山動物公園、盛岡市動物公園（社団法人日本動物園水族館協会より要請）	3月23日	動物用食料等
10	宮城県（環境省より要請）	3月24日	災害用トイレ100基
11	宮城県仙台市（20大都市相互協定）	3月26日	アルファ米3,000食

(イ) 救援物資別実績

救援物資	数量	救援物資	数量
a アルファ米	51,500 食	f 水のペットボトル	740 本
b 毛布	4,800 枚	g 消毒用アルコール	500 本
c 災害用トイレ	205 基	h マスク	10,000 枚
d 災害用ボックストイレ	300 基	i ラジオ	100 台
e 汚物処理袋	15,000 袋		

(ウ) 搬送予定

搬送予定なし。

(エ) 備蓄物資の状況

- a アルファ米 応援物資 (51,500食)  
残数 (315,700食) 1年以上の有効期限あり  
備蓄計画数 (233,000食)  
搬出可能数 (約12,000食)

(※搬出可能数については、避難所ごとにアルファ米を分散配置している関係上搬出先が限定される。)

- b 毛布 応援物資 (4,800枚)  
帰宅困難(3/11) (約6,000枚)  
残数 (約71,200枚)3/25 約10,000枚入荷  
備蓄計画数 (136,000枚)  
搬出可能数 (約2,200枚) 馬絹倉庫保管分

(※帰宅困難使用は、一部クリーニングにより再利用)

イ 応援部隊の状況

(ア) 応援部隊等

- a 派遣予定  
なし

b 派遣中

(a) 緊急消防援助隊(救急部隊)

4月 3日～4月 7日 福島県内 3隊 7名

(b) 緊急消防援助隊(航空部隊)

4月 2日～未定 福島県内 1隊 5名

c 派遣実績

4月 4日現在 延 1, 015人日 ※派遣中を含む

(a) 給水車(4月 4日現在:延 103人日 10台)

3月12日～3月15日	千葉県市川市	給水車(2トン)1台	4名
3月15日～3月18日	千葉県市川市	給水車(2トン)1台	3名
3月18日～3月21日	千葉県市川市	給水車(2トン)1台	3名
3月21日～3月22日	千葉県市川市	給水車(2トン)1台	3名
3月12日～3月15日	茨城県河内市	給水車(4トン)1台	4名
3月15日～3月18日	茨城県河内市	給水車(4トン)1台	3名
3月17日～3月18日	茨城県河内市	給水車(4トン)1台	3名
3月14日～3月15日	福島県郡山市	給水車(4トン)1台	4名
3月18日～3月20日	茨城県日立市	給水車(4トン)1台	3名
3月20日～3月21日	茨城県日立市	給水車(4トン)1台	3名

(b) 水道管路応急復旧(4月 4日現在:延 21人日 2台)

3月16日～3月22日	千葉県浦安市	作業車2台	3名
-------------	--------	-------	----

(c) 下水道管きょ施設調査(4月 4日現在:延 146人日 8台)

3月17日～3月23日(第1次隊)

岩手県盛岡市 緊急車両1台、トラック(2トン)1台 6名

3月22日～3月25日(第2次隊)

岩手県盛岡市 緊急車両1台、トラック(2トン)1台 6名

3月25日～3月28日

宮城県栗原市 緊急車両1台、トラック(2トン)1台 6名

3月27日～4月2日

宮城県栗原市 緊急車両1台、トラック(2トン)1台 8名

(d) 緊急消防援助隊派遣(4月 4日現在:延 623人日 42隊)

3月11日～3月13日	千葉県市川市	1隊	6名
-------------	--------	----	----

3月12日～3月15日	宮城県仙台市	7隊	32名
-------------	--------	----	-----

3月14日～3月18日	宮城県仙台市	7隊	32名
-------------	--------	----	-----

3月17日～3月20日	宮城県仙台市	8隊	35名
-------------	--------	----	-----

3月24日～3月26日	福島第一原発	12隊	36名
-------------	--------	-----	-----

3月31日～4月 4日	福島県内	3隊	8名
-------------	------	----	----

(e) 被災宅地危険度判定調査(4月 4日現在:延 57人日)

3月22日～3月26日	宮城県仙台市	被災宅地危険度判定士	3名
-------------	--------	------------	----

3月25日～3月29日	宮城県仙台市	被災宅地危険度判定士	3名
-------------	--------	------------	----

3月28日～4月 1日	宮城県仙台市	被災宅地危険度判定士	3名
-------------	--------	------------	----

4月 1日～4月 4日	宮城県仙台市	被災宅地危険度判定士	3名
-------------	--------	------------	----

(f) 医師、保健師（4月 4日現在：延 65人日）

3月17日～3月21日（第1次隊）

宮城県仙台市 医師1名、保健師2名

3月21日～3月25日（第2次隊）

宮城県仙台市 医師1名、保健師2名

3月25日～3月29日（第3次隊）

宮城県仙台市 医師1名、保健師2名

3月30日～4月 2日

福島県二本松市、川俣町 医師1名、保健師2名、社会福祉職2名

ウ 有料道路の通行料金の免除について

岩手・宮城・福島の各県知事から神奈川県知事を通じて、今回の地震に伴う災害援助のために使用する車両の取扱いについて依頼があった。

これにより、地方自治体が発行する証明書を携帯することにより、有料道路の通行料金が免除される。

対象車両は行政・協定締結先・現地から要請の受けたボランティアの車両となる。

## (5) 放射能関連

ア 市内の環境放射線量

測定期間	4月3日17時～4月4日16時
測定地点	川崎市公害研究所（川崎区田島町）
測定値[マイクログレイ/h]	0.059～0.062（前日0.060～0.063）

※自然界放射線レベル 0.03～0.1マイクログレイ/h（文部科学省）

イ 食料品の放射線量

(7) 健康福祉局健康安全室が市ホームページに「東京電力福島第1原子力発電所の事故に伴う食品の安全性について」を掲載した。

(要旨)

- ・市内を流通する食品は、生産地での出荷制限等様々な措置などにより、現状では安全である。
- ・仮に暫定規制値を超えた食品を摂取しても、基準は厳しく設定されているため、すぐに健康に悪影響があるものではない。

(i) 神奈川県によると、4月1日現在、これまで県内で生産された農畜水産物 21検体(牛乳5検体、野菜類12検体、肉・魚4検体)の測定値はいずれも食品衛生法上の暫定規制値を下回るもので、食べても健康に影響を与えるものではないとのこと。(参考 <http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f6576/p163715.html>)

(ウ) 経済労働局農業振興センター農業技術支援センターで試験栽培中のホウレン草を放射線測定 of 検体として神奈川県に提供する。

- ・ 4月5日：検体提供（予定）
- ・ 4月6日：分析結果判明（予定）

ウ 水道水の放射線量

採水日 平成23年4月4日(月)

採水場所 長沢浄水場(相模川水系)

潮見台浄水場(相模川水系及び酒匂川水系)

生田浄水場(地下水)

西長沢浄水場(神奈川県内広域水道企業団が管理・提供)

採水場所	放射性セシウム[Bq/kg]	放射性ヨウ素[Bq/kg]
長沢浄水場	不検出	不検出
潮見台浄水場	不検出	不検出
生田浄水場	不検出	12.3
西長沢浄水場	不検出	不検出
原子力災害時の飲食物摂取制限に関する国の指標値(飲料水)	200	300
乳児の飲用に関する暫定指標値	—	100

※放射性セシウムの検出下限値は、Cs137:9.6[Bq/kg]、Cs134:9.1[Bq/kg]、放射性ヨウ素の検出下限値は、8.7[Bq/kg]。

※放射性セシウムの測定値は、Cs137とCs134の含量値である。

問い合わせ先：水道修繕センター 0120-014-734 (24時間年中無休)

エ 広報体制

- ・ 食品の放射能計測を実施した場合は市ホームページ等で広報していく。
- ・ 環境放射線量の測定結果を携帯電話で見られるよう、モバイルかわさきに掲載を開始した。
- ・ 水道水の放射能測定結果については、今後の問い合わせ先を水道修繕センターに一元化した。また、モバイルかわさきへの掲載を検討している。

(6) その他

ア 川崎競輪は3月末まで競輪開催及び場外販売を中止決定していたが、当面4月中旬まで中止継続することを決定（3月28日報道発表済）

イ 被災者・避難者の就職活動や労働災害の補償などの相談に対応するため、ハローワーク、労働基準監督所等の協力により、「お仕事に関する相談会」を4月4日にとどろきアリーナにおいて実施した。

ウ 臨海地区の東扇島東公園・東扇島西公園・浮島つり園を4月1日から公園開放する。 ※全て日中（8:30～18:00まで）の開放

エ 市立中学校等の施設開放について、昼間の校庭を除いて中止としていたが、4月1日から4月30日の間は校庭、体育館、特別教室の昼間の開放を実施する。

## 計画停電に備えた大型リチウムイオン蓄電池の緊急配置について

### 1 目的

平成23年3月11日に発生した東日本大震災を原因とする東京電力による計画停電の実施に伴い、影響が懸念される高齢者施設、障害者施設及び市施設等に対し、非常用電源として利用可能な大型リチウムイオン蓄電池「パワーイレ（エリーパワー社製）」100台を緊急に配置し、停電時でも中断することなく安定的な電力供給を可能としたものです。

### 2 配置日

平成23年3月14日から順次実施し、31日に全100台の配置完了

### 3 配置先

- (1) 高齢者施設、障害者施設等 42箇所：42台
- (2) 市施設 21局（室）区36課：58台

### 4 用途

停電時のパワーイレの主な用途

- (1) 高齢者施設、障害者施設等での介護用電動ベッド、緊急時における痰吸引装置などの電源
- (2) 検体、薬品等を扱う施設での冷蔵装置の電源
- (3) 市役所、区役所等での必要最低限の照明、パソコンなどの業務継続用電源

### 5 仕様

- (1) 品名/型名 パワーイレ（エリーパワー社製） / PPS-10
- (2) 容量/出力 2kWh / AC100Vコンセント×2口（合計1000Wまで）  
（2台接続時）4kWh / AC100Vコンセント×4口（合計2000Wまで）
- (3) 入力 商用電源AC100V 1500W(最大)、太陽光発電DC48V 10A(最大)
- (4) 使用環境 【室温】0℃～40℃、【湿度】5%～95%RH、【使用場所】屋内
- (5) 遠隔監視 au 携帯電話通信網内
- (6) 寸法/重量 （幅）320mm×（奥行）550mm×（高さ）702mm / 重量61.5kg

※ 仕様データはパワーイレ取扱説明書から抜粋

（問い合わせ先）  
総務局危機管理室  
対策担当 吉越、荒木  
電話 044-200-2923（内線22513）